

With

2003
夏
vol. 25

ウィズセンター情報誌

- 特別寄稿 船橋邦子さん～5周年へのメッセージ～
- 大西副知事インタビュー



「蒜山ハーブガーデンハービル(川上村)から蒜山三座を望む」

出会い、学び、変わる、変える

～男女共同参画センターに期待すること～

男女共同参画社会づくりのための総合的拠点施設として、平成11年4月1日にオープンしたウィズセンターも5年目を迎えました。

そこで、初年度の「男女共同参画フォーラム」基調講演の講師にお招きした船橋邦子さんに、これからの男女共同参画の方向やセンターの果たす役割などについてメッセージをお寄せいただきました。



船橋 邦子 ふなばし くにこ

和光大学教授

1992年、「アジア女性会議一創り出そう、女たちのアジアを」実行委員長を初め、女性差別の撤廃に向けたNGO活動に20年以上参加する。

1994年、佐賀県立女性センター・県立生涯学習センター初代館長
1996年、大阪女子大学女性学研究センター教授（～01年）
大阪府男女協働推進連絡会議議長、大阪府男女協働社会づくり審議会委員、大阪府人権施策推進審議会委員、松戸市女性行動計画推進協議会会長、松戸市教育委員など歴任。

現在、埼玉県桶川市男女不平等苦情処理委員、千葉県四街道市女性施策協議会会長

大 変な時代になった。男性社会、正確には近代の白人の男性中心につくられてきた世界のシステムが明らかにいきづまっている、という印象が私にはする。日本でも中高年男性自殺者は世界第2位となった。男性も生き難いのだ。

競争、効率、強さ、速さ、中央集権などの近代の男性中心社会が価値としてきたものから、共生、やさしさ、非暴力、スロー・ライフ、地域分権へと移行していく、そのことが、とりもなおさず、男性中心社会から男女共同参画を推進していくことに他ならないと私は考えている。

男 女共同参画と地域分権は21世紀のまちづくりのキーワードであり、私は、この二つに将来への可能性と希望を見出している。男女共同参画センター（女性センター）は、このための活動の拠点である。

女性の社会参画を進め、女性差別の解決のためのスペースとして、1990年代急増した女性センターは、「男女共同参画社会基本法」の施行を受けて、その名称が「男女共同参画センター」や「男女平等センター」（以下、センター）などに変わりつつある。女性だけではなく、「男も辛い」と嘆いている男性、とりわけ定年退職した元・企業戦士が、センターで、それまでの自分の生き方を問い直し、職場で培った能力を還元することは歓迎すべきことだ。ただ、男性の参加を望むあまり、男性がこれまでの価値観のままリーダーシッ

プを発揮することになると、せっかくの女性にとっての機会が奪われることになりかねない。気をつけたいと思う。たとえ、男女共同参画センターと名称が変わったとしても、センターは、男女共同参画推進のために女性のエンパワメントを目的としていることに変わりはない。女性たち(男性たち)が、そこに集まり、出会い、学ぶなかで、情報交換し、励ましあいながら学んだことを地域に還元する。人がひとに出会いネットワークが広がるのが生きるよろこびであること、同じ目的に向かって活動することの楽しさを私は佐賀県立女性センター時代に学んだ。それは、知識を頭に詰めこんで、頭でっかちになるのではなく、悩みつつ生きている姿にふれ、問題解決のために行動することだった。共に考え、行動すること、そのためにはセンターは、企画運営においても、市民の主体性の形成に寄与できる方法を考えることが優先課題だと私はいつも自分に言い聞かせてきた。

差 別や不公平さを見抜く力とともに、一人になっても安心して暮らせるまち、共に支えあう、ひとにやさしい男女共同参画の地域づくりのためには、それを担える責任主体としての市民の存在は不可欠だ。センターは、21世紀の新たな価値と文化の創造である男女共同参画を地域から推進していくための原点ともいえる重要なスペースとして、私は大いに期待している。

・大西副知事インタビュー

今年の7月で就任2年目を迎えられる大西副知事に、男女共同参画行政の今後の取組や抱負などについてお話を伺いました。初夏の陽光が差し込む副知事室で終始にこやかにお答えくださいました。



Q 岡山県の印象はいかがですか？

A 海あり、山ありで自然に恵まれ、気候的にも「晴れの国」ということで災害も少ないですし、交通基盤も整っており、中四国一の農業県でもあり、総合的に見て非常に住みやすいところだと感じています。それと、岡山の人々は自分たちの土地を愛して暮らしているという印象があります。豊かな自然や歴史に育まれた文化度の高さなど、良いところはもっと外へ向けてPRしてもいいのではないのでしょうか。

Q 男女共同参画行政の今後の取組、抱負などについてお聞かせください。

A 岡山県では「男女共同参画社会基本法」を受けてすでにウィズプラン、条例などが定められ、審議会での意見も活発に出されています。町村ではプラン策定の機運も盛り上がり、地に足のついた取組がなされていると思います。その反面、まだまだ男女共同参画行政というのは発展途上で、昨年、白書を出したことは県民に認識を持ってもらうための良いきっかけになったと思います。これからはすべての施策に男女共同参画の視点を入れていくことが大事だと思います。現在、各地で市町村合併へ向けての議論が展開されていますが、合併した後でどんな社会をつかっていくかという中で男女共同参画の理念を踏まえた論議をしていただきたいと思いますね。

Q 仕事に対する信条を教えてください。

A 一つには、「誠実」ということを大事にしています。

二つ目はうまくいかないことがあっても「たった一度の人生だから、自分を信じて精一杯やろう」ということでしょうか。

Q 5年目を迎えたウィズセンターのこれからの役割と期待をお聞かせください。

A 岡山市の中心にあるという地の利を生かして、訪ねやすく参加しやすい事業を展開していただきたいですね。特に若い男性層に関心を持ってもらえるといいと思います。特色を生かしながら、年度ごとの事業の見直しも同時並行でやっていけばマンネリ化を防ぐことにもなるし、ビジョンを持って取り組むことが何より大切だと思います。

Q マラソンをされるとお聞きしましたが、オフタイムはどのようにお過ごしですか？

A スポーツはあまり得意ではなかったのですが、体を動かすことが好きで時々走ったりしています。

美術館や博物館を見て歩くのが好きですね。館長さんや学芸員さんのお話を聞くのも楽しみです。特に県内の美術館は内容も勿論ですが、建物自体魅力的ですばらしいものがありますね。

Q 岡山県の女性に何かメッセージを・・・

A やりたいことや夢を実現したいと誰もが思っているでしょう。思いがけない役割がきたときもその人の能力に応じた役割が与えられているのだと思って、ひるまず受け止めてほしいですし、自分の人生を大事にしていきたいと思います。

週末は東京の自宅で過ごされるという大西副知事。買物や洗濯などの家事もご夫婦で協力することも多いとか。「二人ともが仕事と家庭を両立させて健康で快適に過ごせることが原則です。まわりの目を気にしないで、最初の取り決めが大事かも・・・」とご自身のパートナーシップ論も語ってくださいました。

(聞き手：情報コーナー 小林鈴代)



参画社会へ Let's Go!

井原市男女共同参画のまちづくり条例策定

いばら男女共同参画プランの根拠条例として、井原市男女共同参画のまちづくり条例ができました。

特徴は、まず、名称を「井原市男女共同参画のまちづくり条例」としたことです。男女共同参画の促進をまちづくりとして捉えることにより、身近な家庭・地域からの変革を促進していこうと名付けました。また、実現すべき姿として、家庭・地域・職場において、それぞれ具体的に達成すべき姿を掲げています。さらに、男女共同参画のまちづくりは、それぞれの地域での取組がキーワードとなることから、地区ごとにまちづくり推進員を置くこととしました。

今後、施行日（H15年10月1日）までに公募を含めた審議会委員の選任やまちづくり推進員の委嘱をしていかなければなりません。また、表彰制度やDVの窓口の具体化などについては、施行規則の中に盛り込んでいくこととしています。誕生したばかりの条例を生きた条例としていくためには、行政のあらゆる分野で、職員自らが意識を変え、市民や事業者の皆さんとともに男女共同参画社会を築いていかなければなりません。まさに今後の取組いかにかかっているといえます。（井原市企画課）



心豊かで魅力あふれるまちをめざして「美作町男女共同参画プラン」を策定

美作町ではこのほど、男女共同参画審議会（佐藤佐英子会長）から答申をいただき、基本計画を策定しました。

計画は、審議委員の公募をはじめパブリックコメントや住民説明会などを経て、町民との「協働」により策定したものです。

計画策定の趣旨を、「性別にとらわれず、個性と能力を發揮できる社会の実現に向けて」として、男女共同参画社会の一日も早い実現を目指しています。

先日、前岡山県男女共同参画課長が町内で講演されたときのことがある雑誌に掲載されていました。その記事の中に引用されていたのが下記の句。

（岡山路「男女共同参画を詠む」
吟友の集いから）

「ついて来い」の
古びた言葉聞くよりも
共に歩もうという君が好き
靖子

美作町も、この句のように男女が共に歩むため、この計画に沿って男女共同参画を進めるとともにフォーラムの開催や町条例の制定をめざします。

（美作町企画財政課）



住みよいまちづくりをめざしてびぜん未来21

平成13年、備前市で初めて女性議会が開催され、公募による20人が参加しました。このことをきっかけに、培った知識等を生かしたいとの思いから新たな仲間も加わり、平成14年6月、会員24人で「びぜん未来21」を設立しました。

女性の市政への関心を高め、豊かで住みよいまちづくりをめざして、まず「男女共同参画推進センターの設置」と「福祉バスの運行」を活動テーマに取り組むことにしました。その成果として昨年12月、念願の「市男女共同参画交流サロン（愛称：ウィズびぜん）」が開設されました。「福祉バス」については、実際に公共交通機関を利用し、利便性について体験するなど、学習や研究活動を続けています。

5月の地区の祭りには女みこしが初登場、会員も参加し、男女共同参画の啓発資材を配付しました。



女性の視点で日々感じていることが自然に次の行動へつながっていく。この感覚を大切にしながら、更にエンパワーメントしたいと思っています。

（びぜん未来21代表
橋井順子）

男性の料理教室が人気 岡山市立上道公民館

料理研究家の政木信昭先生の説明に、真剣に耳を傾けるエプロン姿の男性たち。



この講座は、地域の男性からの強い要望で昨年度から始まり今年が2年目（年8回開催）。去年からのリピーターも含め40代から70代の男性12人が参加しています。この日の献立は「かき揚げ」「わかめ汁」「きゅうりとたくあんの即席漬け」「えんどうごはん」。家では全く料理をしないという人もいれば、退職してから料理・片付けすべて自分の担当という人まで様々ですが、先生の細やかな指導で手際よく出来上がり、自分で作った料理に舌鼓。コツを教わった参加者たちの「かき揚げ」はどれもカラッと揚がりサクサクしています。

参加理由は「妻に強く勧められた」「料理が好きでレパートリーを増やしたい」「一人になったときのために自立しておきたい」などなど。回を重ねるごとに料理の腕前が上がることはもちろん、新しい仲間づくりも進み、生活自体が変化していくようです。

従来の価値観にとらわれない自分らしい生き方や男女の新しいパートナーシップについて考えてみるチャンスですね。

（取材 情報コーナー：林 里美）

男女共同参画地域フォーラム 平成14年度実績

男女共同参画社会の実現には、家庭や地域で住民が主体となって取り組むことが何よりも大切です。このため、市町村とウィズセンターの共催により、昨年度初めて男女共同参画地域フォーラムを県内9市町において開催しました。

フォーラムでは講演会やシンポジウム、男女共同参画をテーマとした創作劇やコント等を通じて、男女共同参画について住民に意識啓発を行うとともに行動できるグループづくりを目指しました。

今年度も、県内各地で開催を予定していますので、積極的にご参加ください。詳しいことは市町村の広報紙等でお知らせします。



実施日	共催市町	実施内容	実施日	共催市町	実施内容
10月31日	高梁市	講演…講師 ウィズセンター所長 創作劇…高上川女性フォーラム	1月12日	作楽町	講演…講師 樋口 恵子 創作劇…美作町地域女性活動推進センター 他
11月 3日	勝田町	講演…講師 ウィズセンター所長 創作劇…どらねこ座	2月16日	瀬崎町	講演…講師 加野 芳正（香川大学教育学部教授） コント…イーブくらしき座
11月10日	津山市	講演…講師 佐藤洋子（前東京ウイメンズプラザ所長） 創作劇…邑久ライフフォーラム 他	3月 1日	建部町	講演…講師 加野 芳正（香川大学教育学部長） コント…イーブくらしき座
11月24日	真備町	シンポジウム	3月 7日	鴨方町	シンポジウム コント…さっちゃん&ともちゃん
12月 1日	大原町	講演…講師 加野 芳正（香川大学教育学部教授） 創作劇…美作町地域女性活動推進センター			

・DV特別講演会に100人以上の参加（4月5日）・



加藤洋子さん（右側）とシンシア・ジョンソンさん

めざして」をテーマに講演会を開催しました。

DV被害者としての体験をもとに精力的にDV防止活動に取り組んでいる加藤さんは、被害者を出さないためには女性だけでなく、社会全体で取り組む必要があると訴えました。

また、同じアメリカでDVに触られた子どもたちへの

アメリカ在住でマサチューセッツ州被害者援護局理事の加藤洋子さんを講師に迎え、「ドメスティック・バイオレンスのない社会を

ケアに当たっているシンシア・ジョンソンからも現場の様子が紹介され、参加者はDVへの理解を深めるとともに被害者支援について考えました。

参加者の声

- アメリカのDVに対する姿勢が日本とは格段に違っており、圧倒されました。
- すごい内容でした。今、私がしていることをとおして、DVへの関心を深めたり、DVのない社会をつくるためにできることをやりたいと思いました。
- 実践に基づいた具体的な話なので、説得力があり、刺激的でした。できることを岡山で生かしていくことが私たちの課題かなと思いました。
- DVのない社会のために、私個人が出来ることなど何にもないのではないかと感じていましたが、何か出来ることがあるかもしれないと思いました。
- 具体的であり、その場に臨んだ者でしか分からないようなことばかりで、本当に驚いた。もっともっと学習したい。

・ウィズカレッジ企画講座開催（5月17日）・

愛知淑徳大学コミュニケーション学部・大学院の國信潤子教授を迎えて、「女も男もエンパワー～男女共同参画は21世紀のキーワード～」をテーマに講座を開催しました。県内・近県からの男女50名の参加者は、穏やかなトーンから繰り広げられる充実した内容に魅了されました。

講義は、家庭、地域から日本、世界へと展開され、女性の経済的自立問題、家庭科男女共修、父親の役割変容、ニュージーランドの子育て支援政策など大変興味深く、「これからの時代の人材育成には、バランスよく勉強できることより何かにずば抜けていること。仕事の中で何にイ

キキと取り組めるか？可能性や未開発能力を開発しチャレンジ精神を育てることが重要」「男女共同参画社会基本法を私たちはもっともっと心の中に置き、血として肉として、いつも心の中にあるものとしていくことが必要」と熱いメッセージが送られました。



國信潤子教授

男女共同参画社会形成岡山地域セミナー公開講座参加者募集

男女共同参画の地域リーダーを養成する「男女共同参画社会形成岡山地域セミナー」のうち、次の4講座を公開講座として、参加者を募集しています。どしどしご参加ください。

参加ご希望の方は、電話、FAX等でウィズセンターへお申し込みください。
参加費は無料です。

開催日時	講義名	講師
7月12日(土) 10:00~12:00	ジェンダーという視点	岡山大学教育学部 助教授 松田 恵示
// 13:00~16:00	メディア社会と私たち ~受け手から「読み手」へ~	メディアフォーラム岡山 代表 乙竹 文子
7月18日(金) 10:00~12:00	DV(ドメスティック・バイオレンス)の現状と課題	弁護士 大森 礼子
7月29日(火) 13:00~15:00	女のからだは私のもの	助産師・保健師 赤松 彰子

※場所は、ウィズセンター会議室です。

「パートナーシップ21」参加カップル募集

ジェンダーの視点とコミュニケーション技術を併せ持ち、地域でファシリテーターとして活躍していただくカップルを育成するため、次のとおり講演会、講座を開催します。

第1回 (公開講演会…カップル以外の参加可)

日時:平成15年6月29日(日) 13:30~16:00

内容 トーク&トーク

テーマ:「ベストパートナーシップ実践編
…私たちの場合」

講師 ゆみこ・ながい・むらせ & 村瀬春樹さん
(ベストカップルとして活躍中)

第2回

日時:平成15年7月26日(土)

内容 アサーティブトレーニング

講師 宮本由起代(大阪心のサポートセンター代表)

第3回 (公開講演会予定)

日時:平成15年9月20日(土)

内容 講演「男性と女性のための男性学入門」

講師 伊藤公雄(大阪大学大学院教授)

第4回

日時:平成15年10月中旬

内容 講演とトーク「地域活動とジェンダー」

〔場所〕 ウィズセンター会議室

〔参加費〕 無料

〔募集人数〕 県内在住又は勤務する男女30組
(全回参加可能な方)

公開講演会は、どなたでも参加できます。

〔応募方法〕 電話、FAX、ハガキ、Eメールで、
①住所 ②2人のお名前 ③連絡先の電話番号
④「パートナーシップ21カップル応募」
をお知らせください。

ウィズカレッジ参加者募集

メンタルヘルス講座 ~癒しのテクニック教えます~

日時等:7月27日(日)午後 ウィズセンター会議室

内容 ワークショップと講演

こころの健康を保って、上手にストレスにつき合っていく方法を学びます。

講師 第1部 金重恵美子

(ウィズセンター「医師による特別相談」担当医)

第2部 川上 憲人

(岡山大学医学部教授・医学博士)

女は何を見てきたか(仮題)

日時等:8月24日(日)午後 ウィズセンター会議室

内容 トーク&トーク

被爆体験者の女性の目を通して見た戦後の女性の生き方について語っていただきます。

講師 小野山博子・井久保伊登子

※詳しいことはチラシ等でお知らせします。お誘いあわせてご参加ください。

就職準備講座 働きたいあなたに

〔受講資格〕 結婚・出産・育児・介護等で離職し、再就職を希望する方
〔期間〕 7月8日(火)~7月16日(水)のうち、土、日、月を除く6日間
〔時間〕 10:00~15:00
〔場所〕 ウィズセンター会議室
〔受付期間〕 6月19日(木)~7月2日(水) (但し、日、月を除く)
〔受講料〕 無料
〔申込方法〕 受付期間内の9:30~16:30にご本人がウィズセンターへお越しください。(来所困難な場合は電話でも結構です。)
TEL 086-235-3309

内容

- ・知っておきたい社会保険と税金
- ・ビジネスセンスアップ講座
- ・自己表現トレーニング
- ・リアリティセラピー
- ・企業情報の集め方と見方
- ・資格の生かし方
- ・カラーコーディネート など





ウィズライブラリー



ちょっと手にとって読んでみませんか？ 気軽に読めて役に立つブックレットを紹介します。



『男女共同参画、向老期をともに生き、ともに学ぶ』

- 国立女性教育会館 編
- 財務省印刷局 (2002年)

「高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究」に基づいて開発された学習プログラム。事業の企画・実施や学習会活動を充実させるために活用できる一冊です。



『アサーティブネスへようこそ』

- アサーティブジャパン 編
- アサーティブジャパン (2001年)

「自分の意見を率直に主張し、嫌なことは、はっきり「ノー」と言おうよ。そしてそんな自分を好きでいていいよ」というアサーティブネスのメッセージとさわやかなコミュニケーション術のヒントがいっぱい詰まったアサーティブの入門編。



『女性グループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック』

- (財)大阪府男女協働社会づくり財団 (2001年)

21世紀の新しい地域社会モデルをめざして活動する女性たちのグループの事例を紹介しながら、これからの働き方、生き方を提案します。組織のエンパワーメントとネットワークづくりに役立つ一冊です。

新着ビデオです。どうぞご利用ください。



文部科学省選定

『気づくことがはじめての一步』

～男女共同参画社会を築くために～

- 2002年 ●24分

男女共同参画への取組が進められている一方、旧来からの固定的な役割分担意識から抜け出せずにいる人も少なくありません。何気ない日常生活をドラマ形式で描きながら、地域や家庭からそれぞれの意識を変えていくことの大切さを考えていくための教材用ビデオです。



『地域こそって子育てを!』

薬丸裕英が聞く樋口先生の育児支援ガイド

- 2003年 ●28分

ヤクン(薬丸裕英)がナビゲーターとなり、地域で子育てをしているいろいろな活動事例を紹介しながら、樋口恵子さんとともに「地域での子育て支援のヒント」を提供します。



ストーカー対策ビデオ

『女性が身を守るために』

ストーカー、DVなど…その事例と対策

- 2003年 ●30分

犯罪から身を守るためには、正しい防犯知識を持つことが大切です。ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマで再現し、その対策を解説しています。

「平成14年度岡山県男女共同参画調査研究事業」で調査研究を行ったグループ・団体の調査結果報告書ができました。(内容：①もも塾有志による地域の男女共同参画調査研究 ②男性のライフスタイル ③21世紀を担う、次の世代へのアプローチ ④デジタルインクルージョン推進に関する基礎的研究 ⑤夫の子育て・家事参加に関する研究) ウィズセンター情報コーナーで閲覧、貸出しを行っていますのでご覧ください。



ウィズセンターは土・日曜日にも開館しています。
お気軽に、お越しください。

ウィズセンターはこんなところ

男女共同参画社会とは、
男女の人権が等しく尊重され、
お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、
いわば、女性と男性の
イコール・パートナーシップで築き上げる
バランスのとれた本当に豊かな社会です。
ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを
推進していくための施設です。

1 ほしい情報が手に入ります。

- 関係機関の情報誌の閲覧や、男女共同参画に関する図書・ビデオなどの貸出のほか、人材情報も提供しています。
- 就業に役立つ情報を提供しています。

2 相談ができます。

- 女性の相談員が様々な悩み事に耳を傾け、解決のお手伝いをします。
- 就業に関する様々な相談に応じます。

3 学習できます。

- 男女共同参画のための各種講座を行っています。
- 再就職に役立つ技術講習会を行っています。

4 便利な施設が利用できます。

- 男女共同参画に関する県民のみなさんの活動を支援しています。
- 男女共同参画に関する活動の活性化と交流を深めるために、会議室、交流サロン、作業室などを提供しています。

利用者からの声

市内の女性団体に加入している者ですが、会議室をお借りして講演会などを開催する場合、託児制度があれば便利だと思います。(30代女性)

センターから・・・ 現在、土曜・日曜・祝日は有料で「乳幼児の一時預かり」事業を行っています。平日に会議室を利用される場合は、利用者が保育する人をつけられる場合に限り、保育室は無料でご利用いただけます。ご遠慮なくお申し出ください。

「情報誌With」は季刊発行になりました。

ひとことメッセージ 募集

男女共同参画をテーマとした「ひとことメッセージ」を募集します。性別による区別でおかしいと思ったこと、また、区別されないでうれしかったことなどを「ひとことメッセージ」で表現してください。

応募期間	7月中旬から8月末日まで
優秀作品発表と記念講演	10月初旬
その他	優秀作品には賞金または賞品贈呈

詳しくは、チラシなどでお知らせします。

ウィズセンター利用のご案内

開館時間	・・・ 火～土曜日 ● 9:30～20:00 日・祝日 ● 9:30～17:00
相談員による 一般相談 就業相談	・・・ 火～土曜日(祝日を除く) ● 9:30～17:00 (受付は16:30まで)
特別相談 (予約制)	・・・ 弁護士による法律相談 ● 原則第2・4金曜日 医師によるからだの相談 ● 原則第1土曜日
休館日	・・・ 月曜日及び年末年始
電話	・・・ 086-235-3307(代表) 086-235-3310(一般・特別相談) 086-235-3309(就業相談)
ホームページ	・・・ http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/



交通案内・・・ 岡山駅から徒歩10分
バス●NTT岡山前下車すぐ
天満屋バスターミナルから徒歩2分
市内電車●郵便局前下車すぐ

ウィズ夏号(vol.25)／平成15年6月発行
編集・発行／岡山県男女共同参画推進センター
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F
TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306
Eメール: danjo@pref.okayama.jp